

犬山の教育の重要施策2008

# 学びの学校づくり

—学びの学校づくりのさらなる発展をめざす—

- 犬山の教育は、人格の完成をめざし、学校を共生・協同の場として位置づけ、子ども同士、教師と子どもの豊かな人間関係を育み、すべての子どもの学びを保障する。
- 同僚性に基づく教師相互の豊かな人間関係の中で、教師としての専門性を高め、資質・能力の向上に努める。
- 学校相互の学び合いを大切にし、各学校の取り組みの成果を共有し、学校の活性化を図る。
- 学びの学校づくりのさらなる発展をめざし、評価活動の取り組みの充実を図り、学校に学びの文化を根づかせる。

犬山市小中学校長会  
犬山市教育委員会

## I 犬山のめざす教育

犬山の教育は、自ら学ぶ力を柱と位置づけ、人格形成と学力保障をめざす。そのために、学校現場に裁量を委ね、自ら学ぶ力を育むことにより、幅広い人間性と幅広い学力を形成するとともに、教師の資質・能力の向上を図り、学校の活性化を図る。

### 1 めざす子ども像

犬山は、自ら学ぶ力を身につけた子どもの育成をめざす。自ら学ぶ力とは、子どもが生きる喜びや学ぶ喜びを実感することにより、基礎的な学力を身につけ、生涯にわたって自ら学び続けようとする幅広い学力であり、家族や友達を大事にし、地域を支え、自分の人生を大切にしようとする幅広い人間性である。

### 2 めざす教師像

自ら学ぶ子どもを育むには自ら学ぶ教師でなくてはならない。犬山は、教師の主体的な取り組みにより、自らが日常の授業を振り返り、継続的に授業改善を積み重ねることにより、教師としての専門性や資質・能力の向上に努め、教師の主体性を高める。

### 3 めざす学校像

犬山がめざすのは、子どもが通いたい学校づくりであり、教師が働きがいをもてる学校づくりである。学級編制や教育課程の編成などについて裁量を委ねることにより、学校現場に責任と権限をもたせ、学校の活性化を図り、学びの文化を根づかせる。

## II 学びの学校づくり

犬山は、学校を共生・協同の場と位置づけ、子ども同士、教師と子ども、教師相互の豊かな人間関係を育み、幅広い人間性と幅広い学力の形成、教師の資質・能力の向上、学校の活性化に努め、学校に学びの文化を根づかせる。

### 1 人格形成と学力保障をめざす学びの学校づくり

子ども同士、教師と子どもとの豊かな人間関係の中で、自ら学ぶ力を育み、人格形成と学力保障に努める。

#### (1) 人格形成をめざし、豊かな人間関係を育む学級づくり

##### ア 少人数による学び合いを通して、豊かな人間関係を育む

少人数による学び合いの授業を通して、子ども同士、教師と子どもとの豊かな人間関係を育む。

##### イ 豊かな人間関係の中で、人格形成を図る

認め合い、助け合う集団づくりに努め、豊かな人間関係の中で人格形成を図る。

#### (2) 学力保障をめざし、自ら学ぶ力を育む授業づくり

##### ア 魅力あふれる授業を提供し、学習意欲を高める

・子どもの興味・関心に基づいた教材を積極的に開発し、魅力ある授業づくりに努める。

・副教本「算数」「理科」「国語」の作成を通して、教師の教材分析力や単元構想力を高めるとともに、積極的な活用を図り、子どもの学習意欲を高める。

##### イ 少人数により子ども主体の授業を実現し、自ら学ぶ力を育む

少人数学級を実施し、一人ひとりがじっくりと学べる学習環境の整備に努め、子ども主体の授業を実現し、基礎的な学力の定着を図るとともに、自ら学ぶ力を育む。

## 2 教師相互の学び合いによる主体的な授業改善

犬山では、同僚性にもとづく教師相互の学び合いを重視し、県費負担教職員と市費負担常勤・非常勤講師の区別なく、教師としての専門性や資質・能力の向上をめざし、研修の充実に努める。

### (1) 校内研修の充実に図り、積極的に授業改善に取り組む

#### ア 授業の公開

授業の公開により教師がお互いに授業を見せ合い、授業づくりについて学び合う場として、学校は毎月1回授業公開日を設定する。

#### イ 学校訪問

学校訪問を各学校の校内現職教育計画の中に位置づけ、日常の授業実践として取り組み、教師の授業改善に対する意識を高める場とする。

#### ウ 要請訪問

授業づくりの研修の場として、各学校の要請に応じて客員指導主幹を中心に市教育委員会が積極的に支援する。

### (2) 研修の場を広げ、指導力の向上をめざす

#### ア 学校説明会（シンポジウム教育のまち）

学校・家庭・地域が一体となって教育のまちづくりをめざし、これまでの取り組みを見つめ直し、今後の学びの学校づくりの方向性を探る。

#### イ 犬山授業改善交流会

子ども主体の授業づくりをめざして、日常の授業改善の成果を持ち寄り、教師相互が学び合うことにより、授業づくりの能力を高める。

#### ウ 授業研究会

市教委が中心となって有志を募り、指導方法の工夫改善について研修を深め、教師としての専門性を高める。

## 3 評価の充実に図り、学びの学校づくりの熱度を高める

犬山では、評価への取り組みの充実に図り、それぞれの学校に学びの文化を根づかせる。

### (1) 評価を生かし、子どもを生かす

#### ア 評価を積み重ね、指導に生かす

日々の授業の中で、確認テストや観察などによる継続的な評価を積み重ね、個々の指導に生かす。

#### イ 自己評価力を高め、学習に生かす

子ども自身が、授業への取り組みの様子や学習内容の習得状況をつかむ振り返りカードの活用を図り、自己評価や相互評価の結果などをその後の学習に生かす。

### (2) 評価を生かし、教師を生かす

#### ア 子どもの姿をとらえ、授業づくりに生かす

目の前の子どもの姿を出発点に置き、「めざす子どもの姿」と「手だて」を明確にした授業づくりに努める。

#### イ 子どもの姿を通して自らの指導を評価し、資質・能力の向上に努める

「子どもの姿は、指導の結果である。」という認識に立ち、教師自らが資質・能力の向上に努める。

### (3) 学校相互が学び合い、評価の充実に図る

#### ア 教育評価研究委員会の取り組みを通しての充実に図る

犬山市教育評価研究委員会を通して、各学校の評価の手法について学び合い、評価の充実に図る。

#### イ 評価の手法の確立をめざす

各学校の評価への取り組みの充実に図り、学校の活性化をめざす。

#### 4 学校の活性化を図り、学びの文化を根づかせる

地域が学校を育て、学校が地域づくりに貢献する学びの学校づくりを積極的に進めるとともに、学びを支える施設・設備の整備に努める。

##### (1) 学校裁量の拡大により学校の活性化を図る

###### ア 学校裁量による学級編制を進める

生活集団と学習集団を一体とする少人数学級は、人格形成と学力保障に欠かせない教育環境である。市費常勤講師7名、市費非常勤講師56名を採用し、学校の裁量により30人学級の拡大を図る。

###### イ 学校裁量による教育課程の編成を進める

教育課程の編成にあたり、地域の実情、子どもの実態に応じ、特色ある教育活動を展開する。

###### ウ 教師が授業に専念できる体制づくり

校務分掌の見直しによる簡素化、学校運営の効率化を進め、教師が授業づくりに専念できるような体制づくりを進める。

###### エ 学校の活性化を促す体制の整備

各学校の実情に応じて、学校経営支援者・校務支援者・特別支援教育支援員等を配置し、学校の活性化を図り、すべての子どもの学びを保障する。

##### (2) 地域コミュニティと支えあう学びの学校づくり

###### ア 放課後子どもプランの推進

健康福祉部と連携し、放課後子どもプランの推進を積極的に支援する。

###### イ 子ども大学の開催

休業土曜日を活用して子どもたちが幅広い体験活動に参加し、自ら学ぶ力を育成できるような体制の整備に努める。また、NPO等地域の教育力の有効な活用を図り、地域ぐるみで子どもを育てようとする気運を高める。

###### ウ 部活動の支援

部活動指導員を市費で採用し、中学校部活動を積極的に支援する。

##### (3) 子どもの学びを支える学びの環境づくり

###### ア 学びの学校づくりに視点を置いた学びの学校建築構想の実現

羽黒小学校については、全体構想を立て、22年度から校舎の大規模改修及び改築をめざす。

###### イ 安全で快適な施設・設備の整備

・耐震改修事業については、5か年計画を3か年計画に短縮し、羽黒小学校を除き、21年度までに終了する。20年度は、城東小学校、楽田小学校、南部中学校の耐震工事を実施する。

・2学期制にともない、長期休業の有効活用をめざした学びの支援として、犬山北小学校、犬山南小学校、楽田小学校の図書館に空調設備を設置する。

#### 本年度の予定

##### 【犬山授業改善交流会】

###### ア 授業の公開・学校説明会

○ 期 間：10月27日(月)～11月7日(金) ※土・日・祝は除く

○ 会 場：犬山市内小中学校

###### イ 授業改善交流会

○ 期 日：平成20年10月31日(金)

○ 会 場：犬山市立羽黒小学校・犬山市立城東中学校